

# まごころ

2011年6月号

特定非営利活動法人 まごころサービスあい愛  
629-1133 京都府船井郡京丹波町角下大田43-2  
TEL 0771-84-9333 FAX 0771-84-9150

第5号  
広報委員会  
発行責任者  
越川剛續

ボランティアには、あい愛の理事の越川貞雄が、四月の上旬から一週間、被災地で個人的に活動しました。

ボランティアには、あい愛を出発し、十六時間かけて青森に入り、徐々に南下し、岩手・宮城・福島第一原発まで行きました。

途中、道路をふさいでいる放置車や大樹の移動、側溝の土砂や家屋のがれきの撤去作業を行いました。又、和知の方々からお預かりしたお米や野菜ジュース、ボリタンクを大変喜んで頂きました。これから二十年、三十年後のかなことは今後、みんなで支え合つていかなくてはいけないと思いました。

まごころサービスあい愛 理事 越川貞雄



平成23年6月7日(火) 京都新聞に掲載されました。

**真心配食 笑顔届ける 高齢者の食卓彩る**

高齢者の暮らしを支えるNPO法人「まごころサービスあい愛」が提供する配食サービスが、好評を得ている。旬の食材を選び、バランスや味を考へ、年間1万食以上を提供するようになった。真の心を通して地域に笑顔の輪を広げている。

京丹波のNPO法人「まごころサービスあい愛」が運営する配食サービスは、京丹波町の高齢者を対象としたもの。高齢化に伴って利用が増えており、10年目の昨年度は方食を越えた。和地団体も65歳以上の人がいれば、誰でも利用できる。料金は、1食400円。この料金は、わかめ、豆類、きんぴらなどの煮物を含む。毎日、スタッフが30～40食を調理し、温かいまま希望者に配達している。高齢者では本日も女性(89)は「ひどい女性(89)は「ひどい」と嘆息しながら、「介護食の面からも大変。家族が働いていないので、とても助かっています。」と笑顔で語った。

前号の広報で、東日本大震災で被災された方々の復興を願い、募金を募りましたところ、沢山の利用者の皆さんに心からのご協力を頂き、約一ヶ月で、日本財團に送金致しました。募金は、四月末にありがとうございました。ボランティア活動に使わせて頂きました。重ねまして、お礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

## 復旧・復興に向けて

# おでかけ デイサービス

☆皆さんの感想☆

坂が長くて上がるか心配でした。お手洗いはもう少し近いほうが良い。きれいに咲いた桜の下で、みんなでお弁当も美味しかったです。お土産も買えたし、乐しかった。アイスが美味しかった。

ゆうゆうミニデイサービスでは、四月の第三週目に西舞鶴の匂崎公園にお花見に出かけました。この公園は、桜の色のコントラストがとてもきれいでした。お花見に行つた日は快晴で、空と海の青さと



次回のこけ玉教室は、六月二十二日です。興味のある方はあい愛までご連絡下さい。童心にかえり、にぎやかに楽しく土遊びをして頂けますよ。

アート教室もあります。この教室は、絵が上手下手関係なく、頭の中で想像したことを探していきます。そのことにより、普段は使っていない部分の脳を働かせることができ、認知症の予防などにつながります。自分自身の感性で描いていきます。絵を描くことに苦手意識のある方でも、「楽しい！」と、笑顔で作品作りに取り組んでおられます。

ただ絵を描くのではなく、植木鉢に描いたり新聞紙で野菜を作ったり。楽しみながら頭を柔らかくすることができます。

編集後記 あい美のひとこと	今月のレシピコーナー 「白菜の梅和え」	平成二十三年度総会
5月26日(木)梅雨入り、去年より2週間ほど早いそうです。なんと5月に台風が・・・！風が強くて傘がひっくり返って、あい美はびっしょりになってしまいました。それはさておき、蒸し暑くなってきた今日この頃。さっぱりとした「白菜の梅和え」を食べて、食欲を増進し、暑さに負けない体を作りましょう！	☆ 材料 ☆ 白菜(キャベツ) かつお梅(なれば梅干しとおかか) しょうゆ・みりん	☆ 作り方 ☆ かつお梅は種を取り刻んで、みりんと醤油を合わせておきます。白菜をゆでて、よく水気を絞ります。合わせだれと白菜をざっくり和えて出来上がり！ キャベツでも美味しく出来ます。